



新しい「ミサの式次第と奉献文」

「ミサについて学び直す機会に」



日本カトリック典礼委員会委員
上智大学神学部非常勤講師

宮越 俊光

現在、日本のカトリック教会では、今年の11月27日（待降節第1主日）から始まる新しい「ミサの式次第と奉献文」の実施に向けた準備を行っています。この新しいミサの式文の実施については、『新しい「ミサの式次第と第一〜第四奉献文」の変更箇所―2022年11月27日（待降節第1主日）からの実施に向けて』という冊子で解説されているのでぜひお読みください。また、「カトリック新聞」の連載や『福音宣教』誌の座談会記事、そして各教区報などでも新しい式文について説明されています。

新しいミサの式次第の実施が発表された後、「ミサが新しくなるのですか?」「かなり改訂されるのですか?」などの質問が寄せられました。今回の改訂は、60年前に始まった第二バチカン公会議の後、ミサがラテン語から各国語に変わったときのような全面的な改訂ではなく、式文の部分的な変更です。司祭が祭

壇上で使っている『ミサ典礼書』の式文の部分は1051頁もありますが、今回の改訂はそのうちの70頁弱になります。とはいえ、どのミサでも必ず使われる式次第と奉献文は、木にたとえれば幹に相当する重要な部分です。そのため、約20年の時間をかけて改訂が進められ、ローマ教皇庁の典礼秘跡省との協議や交渉が行われ、昨年5月によりやく同省から認証を受けることができました。

ミサに何度も参加したことのあるかたであれば、ミサで唱える式文のかんりの部分を覚えておくことと思えます。司祭が唱える奉献文も長い祈りですが、頻繁に使われる第二奉献文と第三奉献文なら覚えていたかたも少なくないでしょう。今回の改訂では、会衆が唱える部分が改訂されたり新しい式文が導入されたりしています。たとえば、ミサ以外の典礼でも頻繁に唱える「また司祭とともに」という応唱は「またあなたとともに」に変わります。この応唱を含む叙唱の前の対話句は、

- 司祭 主は皆さんとともに。
- 会衆 またあなたとともに。
- 司祭 心をこめて、
- 会衆 神を仰ぎ、
- 司祭 賛美と感謝をささげましょう。
- 会衆 それはとうとう大切な務め（です）。

となります。現在の式文と似ているので、司祭も会衆も慣れるまでは従来の式文が口について出てしまうということが起こるかもしれません。

また、聖体拝領前の信仰告白と呼ばれる部分には新しい式文が加わります。現在は、司祭が聖体を会衆に示しながら唱える「神の小羊の食卓に招かれた者は幸

い」に対して、会衆は「主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところに行きましよう」と答えます。実は、会衆がこのように唱えるのは私の知る限り日本だけだと思います。教皇庁から公布されているラテン語のミサの式文では、会衆は、マタイ福音書8章8節の百人隊長のことに基づいて、「主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。おことばをいただくだけで救われます」と唱えることになっています。今回の改訂ではこの式文も加えられて、各共同体で二つの式文のいずれかを選んで唱えることとなります。

これまで日本で唱えてきた式文は、ヨハネ福音書6章の35節と68節のペトロの信仰告白に基づいています。この式文に対して、ある男性信徒からは「何となく軟弱な感じがして唱えにくい」と言われたことがあります。また、あるシスターからは「ミサの中でいちばん好きな部分で、自分が信者になつたきっかけになったことばです」と言われたこともあります。日本独自のこの式文には、司祭が示す聖体に対して、「あなたをおいてだれのところに行きましよう」と唱え、キリストこそが主であり永遠のいのちの糧であることを一人ひとりが告白することを通して、キリスト者が少ない日本で信仰の「あかし」を表明することが期待されているのです。



この信仰のあかしという点は、聖三木図書館の存在にも通じるように思います。日本に数ある図書館の中でも、聖三木図書館はキリスト教の文献に特化した図書館として、きわめてユニークな存在です。キリスト教に関する文献を幅広く所蔵し、明るく開放的な館内で――個人的にはかつての狭くて薄暗く、少しカビ臭い旧聖三木図書館の書庫も好きでしたが――書物と

新しい「ミサの式次第と奉献文」関連資料

- 『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所—2022年11月27日(待降節第1主日)からの実施に向けて』
- 『カトリック新聞』連載 2021年11月28日号より月1回
- 『福音宣教』座談会 2022年1月号より毎月
- 『礼拝と音楽』2022年春193号
- 東京教区 NEWS 2021年12月号より毎月



一面より続き

間もなく始まる新しいミサの式次第の実施は、ミサについてあらためて学び直すよい機会になると思います。ミサにはキリスト教以前のユダヤ教の伝統に由来する要素があり、現在のミサに至るまで長い歴史の中で発展してきました。こうしたミサの歴史や各部分の意味を知ったうえでミサに参加することは、これまでと違うミサの味わいを感じることにつながるでしょう。幸い聖三木図書館には、ミサに関する古典的な書籍から最新の書籍まで基本的な文献がそろっています。これらを大いに活用し、ミサに関する理解を深めて11月27日からの実施に備えてはいかがでしょうか。

【追悼】3人のイエズス会士

宗 正孝神父 2022年7月22日帰天

第4代聖三木図書館長(2007-16年在職)。上智大学文学部人間学研究室で長年にわたり教鞭をとり、上智大学学生寮舎監長、上智大学図書館長などを歴任。上智大学から移管して2007年より新たなスタートを切った聖三木図書館の館長として図書館の体制づくりと運営に尽力した。執筆：図書『倫理思想史』『日本人：日本人に残されたもの』『未来の人間学』『日本思想史要説』『日本倫理思想史研究』ほか。雑誌「人間学紀要(上智人間学会)」「ソフィア」「世紀」「哲学論集(上智大学哲学会)」ほか。



高柳 俊一神父 2022年7月28日帰天

上智大学名誉教授。英文学者、神学者であり、新カトリック大事典編纂委員会委員長、上智大学キリスト教文化研究所所長、ローマ教皇庁国際神学委員会委員、日本基督教学会理事長を務めた。



ホアン・カトレット神父 2022年8月1日帰天

エリザベト音楽大学名誉教授。イグナチオの霊操や聖人などに関する著作を多数執筆、広く読まれている。



◆Topics in Focus◆

ウクライナ・ロシア 一戦争と平和一

ウクライナ・ロシア関連の新作図書、特集が掲載されている雑誌を紹介します。



	タイトル	著者
64	中学生から知りたいウクライナのこと	小山哲 藤原辰史
65	物語 ウクライナの歴史	黒川祐次
66	万物は流転する	W. グロスマン
67	緑の天幕	L. ウリツカヤ
68	戦争は女の顔をしていない 1-3 [漫画]	S. アレクシエーヴィチ 原作 小梅けいと 作画
69	福音と社会 322号	カトリック社会問題研究所
70	福音宣教 7月号	オリエンズ宗教研究所
71	カトリック生活 7月号	ドン・ボスコ社
72	家庭の友 8月号	サンパウロ

今季のおすすめ図書

2022年上半期の新着図書の一部をご紹介します。

	タイトル	著者
1	人格(ペルソナ)の哲学	稲垣良典
2	亡き者たちの訪れ	若松英輔
3	文学者と哲学者と聖者	吉満義彦
4	生き方としての哲学	ピエール・アド
5	レヴィナスの時間論	内田樹
6	小さな「ことば」の大きな力	蒲田恵里
7	LGBTとキリスト教 20人のストーリー	平良愛香 監修
8	禅とキリスト教	K. リーゼンフーバー
9	キア神学の挑戦 キア、フェミニズム、キリスト教	工藤万里江
10	キリスト教神学命題集	土井健司ほか
11	それで君の声はどこにあるんだ？ 黒人神学から学んだこと	榎本空
12	世界を揺るがした聖遺物	杉崎泰一郎
13	アメリカ・キリスト教入門	大宮有博
14	見えない神を信ずる	月本昭男
15	ここが変わった！「聖書協会共同訳」旧約編	大島力ほか 編 飯謙ほか 著
16	ヤバい神 不都合な記事による旧約聖書入門	T. レーマー
17	生涯学習のための教会論	百瀬文晃
18	司祭召命のたまもの	教皇庁聖職者省
19	大学の祈り	青山学院大学宗教主任会
20	祈りへの招き 気を落とさず、絶えず祈るために	森一弘
21	ロザリオの祈り ニコラオ・プレシエル神父の講話II	小野崎涼子 編
22	CREDO 教皇フランシスコとマルコ・ポツツァ師との対話	教皇フランシスコ/ マルコ・ポツツァ
23	使徒言行録・世をいやす 教皇講話集	教皇フランシスコ
24	社会の中で虐げられている人たちから学んだ タグレ枢機卿の人生、そして希望	L. A. タグレ [述]
25	ナチスに声を上げた男 ミュンスター司教フォン・ガーレン	M. トラウトマン
26	ROMA IGNATIANA ローマにイグナチオの足跡を訪ねて	佐久間勤 訳
27	アジジの聖フランシスコ・聖クララ著作集	アジジのフランシスコ/ アジジのクララ
28	キリストの十字架	山内清海
29	寅さんの神学	米田彰男
30	何を信じて生きるのか	片柳弘史
31	現場から現場へ 宣教司牧の気づき	R. フィリピーニ

	タイトル	著者
32	エステラ・フィンチ評伝 日本陸海軍人伝道に捧げた生涯	海野涼子
33	愛は勝利です キリストの愛が織りなす奇蹟の人生	池田登喜子
34	ディアコニッセの思想と福祉実践 ある奉仕女の人物史を中心に	坂本道子
35	きれい事じゃないんだ、聖書の言葉は	関野和寛
36	タムソン書簡集	タムソン
37	恥のきずな 新しい文献学のために	C. キンズブルグ
38	いのち綾なす インド北東部への旅 Weaving of Spirit	延江由美子 編著 梁瀬薫 監修
39	ヨーロッパ史入門	池上俊一
40	ルネサンス情報革命の時代	桑木野幸司
41	インディオの聖像	立花隆 文 佐々木芳郎 写真
42	難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方	中村恵
43	アルコホーリクス・アノニマスの歴史 酒を手ばなした人びとをむすぶ	E. カーツ 著 葛西賢太ほか 訳
44	廃墟からの歌声 原爆投下後の傷害調査にたずさわった遺伝学者の回想	W. J. シャル
45	羽をやすめるとまり木で 「青少年の居場所 Kiitos」から	白旗眞生
46	平和と希望をつくる子どもたち マリア・モンテッソーリの教育	江島正子
47	いのちの秘儀 レイチェル・カーソン 『センス・オブ・ワンダー』の教え	若松英輔
48	ホスピス・緩和ケアのここと実際	柏木哲夫
49	89歳、ひとり暮らし。お金がなくても 幸せな日々を作りかた	大崎博子
50	西洋美術史	秋山聰/ 田中正之 監修
51	メンデルスゾーンの宗教音楽	星野宏美
52	神と向かい合った作曲家たち	西原稔
53	みんなでゴスペル！	山本愛
54	戦後文学と聖書 日本の近現代作家における キリスト教の影響をめぐって	長濱拓磨
55	愛は忍ぶ三浦綾子物語	三浦綾子
56	詩人は聖書をどのように表現したか	柴崎聰
57	二羽の小鳥 信仰の尽きぬよろこび	中山直子
58	善人たち	遠藤周作
59	稔と仔犬 青いお城 遠藤周作初期童話	遠藤周作
60	喜べ、幸いなる魂よ	佐藤亜紀
61	井上ひさし発掘エッセイ・セレクション 1-3	井上ひさし
62	ボクたちは軍国少年だった！	深田未来生/ 木村利人
63	ダンテ論 『神曲』と「個人」の出現	原基晶

聖三木図書館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部サービスを変更しており、ご不便をおかけしております。状況によりサービス内容を変更する場合がございますので、最新の情報はホームページ（Facebook）、留守電メッセージにてご確認ください。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

返却

期限内の返却が難しい場合は、お電話またはお問い合わせフォームからご連絡ください。

返却方法：岐部ホール1F 返却ポストに直接投函
または郵送（郵送方法不問）

送り先： 〒102-0083
東京都千代田区麴町6-5-1
岐部ホール2F 聖三木図書館 宛

問い合わせ

お問い合わせは以下の窓口より受け付けています。サービス状況の確認、調べている事柄に関連する資料の紹介や、調べ物のお手伝いをすることもできます。気になることがございましたら、お問い合わせください。

☎お電話から

電話番号：03-3262-0364
受付時間：11：30～17：00
（木曜・祝日・毎月末日休館）

■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、お問い合わせ内容をご記入ください。質問内容によっては回答までにお時間を頂戴する場合がございます。



←問い合わせは
こちらから

開館

開館時間 11：30～17：00

入館人数と利用時間の制限を行った上で、開館しています。入館予約は必要ありません。

書架閲覧、閲覧席の利用、資料の貸出等ができます。入館時に、消毒・検温、利用カードを確認します。

郵送貸出

☎お電話から

貸出を希望する資料（タイトル・著者など）、利用カード番号（またはお名前）をお伝えください。

■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

ホームページの利用案内で郵送貸出について詳しくご案内していますので、ぜひご確認ください。

新規登録と郵送貸出をご希望の方は、ホームページの利用登録をご覧ください。



←郵送貸出
申込はこちら
から



←聖三木図書館
HP（利用案内）

利用カードの申込・更新

聖三木図書館友の会発行の「聖三木図書館利用カード」（有効期間1年）の新規登録及び更新手続きは、開館時間内に館内カウンターで、または来館せずに行うこともできます。

来館せずに登録をご希望の方は、ホームページの利用登録をご覧ください。新規会員登録フォームをご入力いただくか、お電話にてお問合せください。

年会費	一般	2,000円
	学生	1,000円
	賛助会員	5,000円・10,000円

免許証・保険証など（学生の方は学生証）をご提示いただきます。

聖三木図書館報『みき』第13号

イエズス会聖三木図書館

〒102-0083

東京都千代田区麴町 6-5-1 岐部ホール 2F

TEL: 03-3262-0364

ホームページ:

http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/

題字: Sr. 北爪悦子(師イエズス修道女会)